

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1-1
大阪産業大学国際学部 藤岡克則研究室内
会長室：〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1 高知大学人文学部
奥村訓代研究室内
学会HP：<http://www.hikakubunka.jp/>

第40回全国大会・2018年度国際学術大会のご案内

日本比較文化学会会長および大会実行委員長

奥村 訓代 (高知大学)

今年度は、40回大会という一つの節目にあり、今後の50回大会や60回大会に向けた学会の大きなかじ取りの時期にあると感じております。そのような意味も込めまして、今回は会長自らが大会委員長として40回大会を高知大学で開催することとしました。担当の中四国支部は、大阪・東京に比べますと地の利が悪く、開催に適さない面もありますが、その分、未知との遭遇が待っていると確信しております。

今年度のシンポジウム・タイトルは、「比較文化の手法」と題し、今一度日本比較文化学会の過去40年の歴史を振り返りながら今後の学会発展に必要な不可欠な方向性を示唆し考察する場になればと願っています。以下の5名のパネラーに各自の視点からのご意見や研究成果をご紹介いただきながら、フロアとの知識の共有と相互理解を深められればと願っております。

(韓国代表) 都基弘教授、韓国日本比較文化学会
(台湾代表) 范淑文教授、台湾日本語文学会
(東北・関東支部共同代表) 森崎巧一先生
(中部・関西支部共同代表) 白鳥絢也先生
(中国四国・九州支部共同代表) 藤山和久先生

今大会のポイントとしては、今年度は会長改選選挙があること、また、今年度からは従来の「韓国日本文化学会」、「台湾日本語文学会」に加えて「台湾日本語教育学会」ならびに「台湾村上春樹国際研究所」等の海外関連学会の皆さんにも広くご参加いただきシンポジウムや研究発表が活発に行われることです。

最後になりますが、大会では、日頃味わえない珍しい高知の地酒、カツオをはじめとする海の幸、また太陽の柔らかい日差しにも負けぬ人情の温かさ、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

《日本比較文化学会第40回大会・2018年度国際学術大会 日程》

日本比較文化学会会長および大会実行委員長
奥村 訓代

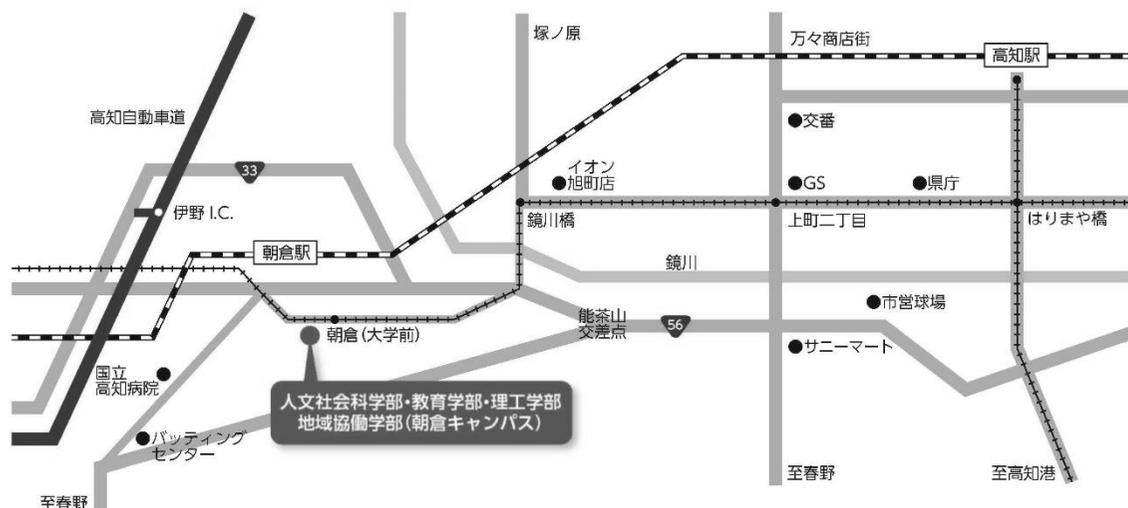
*日程

日時：2018年5月19日（土）

会場：高知大学（朝倉キャンパス：高知市曙町2-5-1）

スケジュール：

8:50	受付開始
9:15-10:45	総会（途中で理事会をはさむ）
11:00-12:10	講演会
12:15-13:30	昼食
13:30-16:15	研究発表
16:30-17:45	シンポジウム
18:00-20:00	懇親会（4000円、高知大学生協2階・共同談話室）



《支部報告》

東北支部

*【報告】東北支部研究発表会および総会

日時：2018年3月10日（土）

場所：弘前学院大学

プログラム

1. 研究発表

- (1) 前田 浩（新島学園短期大学）「動作主を潜在化する英語表現」
- (2) 佐藤 豊（青森大学）「古家樞夫序論—新興俳句と樞夫—」

2. 総会

- (1) 会計報告
- (2) 役員改選

発表に関して様々な質問が出され、発表者にとっても、聴衆にとっても有意義な会となりました。研究発表後、支部総会が持たれ、会計報告が了承されました。また役員改選については、支部長として伊藤豊先生（山形大学）が選出されました。終了後、懇親会が開催され、楽しい一時を過ごしました。今後とも、東北支部をよろしくお願いいたします。

支部長 佐藤 和博

関東支部

*【報告】関東支部例会

日時：2018年3月10日（土）12:00～18:00

場所：東京未来大学 本館 会議室1

プログラム

1. 例会開会の挨拶 関東支部長 近藤 俊明（東京未来大学）

2. 研究発表

総司会 関東支部事務局長 郭 潔蓉（東京未来大学）

(1) 向野 正弘（向野 堅一記念館館長）「戦中期在北京日本人学校教師小川一郎の心情」

(2) 長田 元（宇都宮大学大学院）「2004年以降の港湾振興に関する地方紙社説の分析」

(3) 野田 晃生（筑波大学大学院）「障がいをかかえる人の生命について」

(4) 今野 善信（宇都宮大学大学院）「ゼロ葬と自然葬の葬送儀礼の比較について」

(5) 森崎 巧一（京都経済短期大学）高木 亜有子（湘北短期大学）「画像解析ツールの開発」

(6) 野元 明俊（新宿区議会議員）「新宿区大久保地域のハラール食品店と地域社会について」

(7) 木下 哲生（防衛大学）「日本と欧米のコミュニケーション方略の違い」

(8) 馬場 智子（岩手大学）吉田 直子（東京大学大学院）「外国人児童生徒の教育保障と就学保障の国際比較」

(9) 高橋 強（東海大学）「国際教育特区についての一考察」

3. 例会閉会の挨拶 関東支部 副支部長 高橋 強（東海大学）

*【報告】2017年度関東支部総会（上記例会終了後）

1. 総会開会の辞：議長 花澤 聖子（神田外語大学）

2. 2017年度会計報告：関東支部事務局長 郭 潔蓉（東京未来大学）

3. 2018年度人事案・活動計画：関東支部長 近藤 俊明（東京未来大学）

4. 総会閉会の辞：議長 花澤 聖子（神田外語大学）

支部長 近藤 俊明

中部支部

*【お知らせ】平成29年度中部支部例会・総会

日時：2018年3月31日（土）12:30受付開始 13:00～17:00

場所：名古屋国際センター5階第4会議室（愛知県名古屋市）

プログラム

1. 勉強会（13:05～14:25）

(1) 水町 いおり（中京大学）テーマ「絵画とジェンダー」

2. 自由研究発表（14:35～16:55）合計7件の研究発表

3. 平成29年度中部支部総会（16:45～17:00）

- (1) 会員数報告
- (2) 平成30-31年度役員等人事
- (3) 平成30年度事業計画
- (4) 学会誌『比較文化研究』の編集について

支部長 澤田 敬人

関西支部

*【報告】2017年度12月例会

日時：2017年12月9日（土）12:45～17:00

場所：同志社大学今出川キャンパス 弘風館 K31、K35、K22 教室

プログラム

1. 日本比較文化学会関西支部総会（12：45～12：55 K31 教室）
2. 研究発表（13：00～16：10 K22 教室、K35 教室）
（K22 教室）
 - (1) 于 晶（東北大学大学院）「日中における樹木葬の比較研究」
 - (2) 朴 香花（名古屋大学大学院）「中国人の日本観光とナショナルアイデンティティとの関係について—『日本旅行記ブログ』を中心に—」
 - (3) 陳 林奇（広島大学大学院）「中国の『いじめ』の諸特徴の再検討—日本の『いじめ』定義を用いた江西省小・中学校の調査より—」
 - (4) 道合 裕基（京都大学大学院）「小泉八雲『雉子のはなし』から落語『雉子政談』への変容について」
 - (5) 川内 有子（立命館大学大学院）「ジョン・メイスフィールドの *The Faithful* が忠臣蔵の受容に与えた影響」
（K35 教室）
 - (1) 五十棲 愛璃乃（京都外国語大学大学院）「フリーメイソンリーとドイツ学生歌」
 - (2) Wirasti Angreni（同志社大学大学院）「インドネシア人日本語学習者による日本語の医療におけるオノマトペの習得の研究—看護師・介護福祉士のための現場における使用例を参考にし—」
 - (3) 橋尾 晋平（同志社大学大学院）「日本人初級英語学習者の主語の取り扱いに関する一考察：日本語の主題『～は』に着目して」
 - (4) 朴 起範（関西大学大学院）「シネコンが映画ジャンルの偏重化に及ぼす影響」
 - (5) 菅野 瑞治也（京都外国語大学）「ドイツの教養市民層と決闘」
3. 講演（16：20～17：00 K31 教室）
中川 久公先生（京都恵美須神社宮司・同志社大学嘱託講師）「京都にまつわるよもやま話」

*【報告】2017年度3月例会

日時：2018年3月10日 13:30～17:00

場所：同志社大学今出川キャンパス 良心館 RY401 教室

プログラム

1. 研究発表
 - (1) 道合 裕基（京都大学大学院）「山田美妙『蝴蝶』における蝶のモチーフについて」
 - (2) 段 静宜（関西外国語大学大学院）「植物の取り合わせに関する認知的日中文化対照研究—」

『蓮』、『牡丹』、『松』を中心に—」

- (3) 五十棲 愛璃乃 (京都外国語大学大学院) 「ドイツの学生歌『ランデスファーター』」
- (4) 李 麗 (広島大学大学院) 「『赤い鳥』と『児童世界』の翻訳作品について—『マッチ賣の娘』と『賣火柴的女孩』の比較を通して—」
- (5) 青田 庄真 (日本学術振興会特別研究員 [東京大学]) 「市区町村における外国語教育の成果指標—全国質問紙調査の結果をもとに—」

2. 講演

春口 淳一先生 (大阪産業大学国際学部国際学科) 「拡大する留学生マーケットに翻弄される日本の高等教育—ケース・スタディから考える留学生政策—」

支部長 山内 信幸

中国四国支部

* 【報告】中国四国支部大会

日時：2018年2月11日(日) 12:00~17:00

場所：高知大学 朝倉キャンパス

プログラム

1. 開会式 山下 明昭支部長 (香川大学)
2. 研究発表

司会：奥村 訓代会長

- (1) 高知大学 HUG 研究チーム (高知大学学生) 「HUG 高知バージョンの試み」
- (2) 公文 素子 (高知大学) 「高知で求められる外国人介護士候補生について—NPO の外国人看護師養成を参考に—」
- (3) 梶原 雄 (同志社大学) 「韓国語『테러 (テロ)』の使用実態について」

3. 講演

丸山 敬介先生 (同志社女子大学教授) 「文化を超えて」

4. 寄席

悠遊亭のん気 (演目)『ちりとてちん』

支部長 山下 明昭

九州支部

* 【報告】2017年度関西・中国四国・九州3支部合同研究会

日時：2018年2月3日(土) 13:00~17:00

場所：西南女学院大学

協賛：北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会

プログラム

1. 開会式
2. リサイタルとショート講演 デニス・ウールブライト氏
3. 研究発表

(第1室)

前半司会：林 裕二 (西南女学院大学)

- (1) 奥村 訓代 (高知大学) 「ZOOM 利用による日本語教育の可能性」

- (2) 杉村 佳彦 (宮崎大学) 「御伽草子の浦島太郎における短歌の新解釈とその本意：歌遊びと二面性：本音と建前、風刺と皮肉」
- (3) 朱 冬冬 (関西外国語大学大学院・中国安徽大学) 「テモラウの働きかけ性について—許容型を中心に—」

後半司会：藤山 和久 (広島経済大学)

- (4) 橋本 恵子 (福岡工業大学短期大学部) 「肥前語話者のコード切り替え—大隈重信『憲政ニ於ケル輿論の勢力』の音声資料をもとに—」
- (5) 深津 勇仁 (慶応義塾大学大学院) 「クリント・イーストウッド西部劇の一考察—『アウトロー』を中心に—」
- (6) 林 裕二 (西南女学院大学) 「イシグロカズオ『日の名残り』再考—ノーベル文学賞受賞からのヒント—」

(第2室)

前半司会：八尋 春海 (西南女学院大学)

- (1) 藤渕 明宏 (救護施設ひびき園) 「K-1式緩用の一般・施設居住者生きがい感の比較調査研究」
 - (2) 山口 裕美 (津山工業高等専門学校) 「『マクベス』を読む高専生—津山高専履修選択科目での取り組み—」
 - (3) 篠原 征子 (西南女学院大学) 「ホテルブライダル研究—デスティネーション・ウエディングによる外国人観光客の誘致—」
- 後半司会：樋口 真己 (西南女学院大学)
- (4) 熊谷 摩耶 (湘北短期大学) 「画家ウィリアム・アレグザンダーの記録にみる18世紀の中国女性」
 - (5) 臺丸谷 美幸 (水産大学校) 「日系アメリカ人の朝鮮戦争への従軍と大戦後の社会参入：エスニシティとジェンダーの視点から」
 - (6) 八尋 春海 (西南女学院大学) 「阿蘇市内の飲食店による地元食の活用」

* 【報告】 第30回九州支部大会

日時：2018年3月3日 (土)

場所：アクロス福岡

1. 研究発表

- (1) 山崎 祐一 (長崎県立大学) 「地域連携による異文化共生と市民の英語力改善を目的とした官民協働の取組」
- (2) 藤山 和久 (広島経済大学) 「ジョウゼフ・コンラッドの『闇の奥』—アフリカへの眼差し—」
- (3) 上杉 裕子 (呉工業高等専門学校) 「ドイツで日独青少年指導者セミナーを受けて」
- (4) 篠原 征子 (西南女学院大学) 「ホテルブライダル研究—結婚式に対する日中の女性の意識の相違—」
- (5) 大田 千波留 (熊本学園大学) 「『優秀』というレッテルとその優位性と資源化—中国広東省KGZ市における入党実践の事例から—」
- (6) 三浦 裕子 (九州大学大学院) 「和製洋菓子・苺のショートケーキ」
- (7) 樋口 真己 (西南女学院大学) 「NPOにおける市民の社会参加についての研究」
- (8) Nguyen Thi Ha (山口大学大学院) 「日本語実験談話におけるフィルター「まー」とアニメシ

一の関連性について」

- (9) 郭 潔 (山口大学大学院) 「日本語談話の自己反復現象における“反復トリガー”について」
- (10) エルモンタセルベッター・ムハンマド・アリー・ムハンマド (久留米大学大学院) 「日本語及びアラビア語における動詞活用 (対象研究)」
- (11) 高瀬 博 (長崎海星高校) 「これからの『英語教育の在り方』について考える」
- (12) 山口 裕美 (津山工業高等専門学校) 「刊行本から作品受容史の一端を読み解く—『チャイルド・ハロルドの巡礼』の場合—」
- (13) 木田 悟史 (三重大学) 「ラフカディオ・ハーン『鳥取の布団の話』の変容」
- (14) 林 裕二 (西南女学院大学) 「俳句の国際化とユネスコ文化遺産登録運動」

支部長 八尋 春海

《事務局からのお知らせ》

事務局長 藤岡 克則

○会費納入のお願い いつも会費納入にご協力いただき誠に有難うございます。従来より、一般会員は2年、学生会員は1年を超えて未納の場合には、会員資格を失うこと(除籍)になっております。ご注意ください。会費に関するご質問等ございましたら、学会ウェブサイト (<http://hikakubunka.jp>) の「お問い合わせ」ページより事務局会計担当までお問い合わせ下さい。会費納入の郵便振替口座番号は以下の通りです。詳しい情報は上記ウェブサイトをご覧ください。

＜本部会費 振込情報＞ ゆうちょ銀行振替口座

口座番号: 02570-6-8921 加入者名: 日本比較文化学会

他金融機関からの振込用口座番号: 二五九 (ニゴキユウ) 店 (259) 当座 0008921

＜年会費＞ *一般会員: 5,000 円 (大学院生を含む) *学生会員: 3,000 円 (学部生)

*賛助会員: 一口 10,000 円 (1 口以上)

注意点:

- 1) 振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であるかを明記してください。
- 2) 最近、本部会費と支部会費の混同並びに誤送金が増えております。以下の点お間違いのないよう再度ご確認ください。
 - ①「本部会費」と「支部会費」の振込先および金額は異なります。本部では、本部会費のみ受け付けます。②「支部会費」に関しましては、各支部にお問い合わせください。
- 3) 論文投稿をご希望の場合、年会費納入済が条件となっております。論文投稿希望者の年会費納入確認は、各担当支部(締切月: 3月末・6月末・8月末・10月末・12月末)編集委員長が行っております。論文投稿される際の年会費納入確認は、論文提出担当支部長にご連絡いただきますようお願い致します。

○会員情報更新のお願い 住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職・転勤等によるお引越の際には、お忘れなく会員調査書(学会ウェブサイトよりダウンロードできます)に新情報をご記入の上、下記アドレスまでお送りください。

＜日本比較文化学会ウェブサイト入会・会員情報変更＞ http://hikakubunka.jp/?page_id=97

＜入会申込書・会員調査書送付先＞ あゆみコーポレーション (業務委託先)

メールアドレス: hikakubunka@a-youme.jp